

事務事業名		高齢者福祉電話貸与事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	4845	一般	3	1	3	高齢者福祉電話貸与事業				
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成8年度～ 年度		根拠法令 条例等	高齢者福祉電話貸与事業 実施要綱				
	実施方法		直営		事業分類		融資・貸与事業			
	リーディングプロジェクト		該当なし				市長マニフェスト		2-9	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
一人暮らし高齢者で、電話を設置することが困難な低所得の方に電話を貸与し、日常生活を支援し、高齢者福祉の向上を図る。窓口相談により事業に該当になるか確認。申請書類受付、所得状況調査、電話回線が確保され次第決定通知送付、申請者宅に市備品の電話機設置、貸与者の1か月の使用電話料のうち900円を超えた部分は自己負担。			一人暮らし高齢者で、電話を設置することが困難な低所得の方に電話を貸与し、日常生活を支援し、高齢者福祉の向上を図る。窓口相談により事業に該当になるか確認。申請書類受付、所得状況調査、電話回線が確保され次第決定通知送付、申請者宅に市備品の電話機設置、貸与者の1か月の使用電話料のうち900円を超えた部分は自己負担。							
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
新規電話貸与者数			人	1	2	2				
電話貸与者総数			人	14	15	17				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
65歳以上のひとり暮らし高齢者で電話の設置が困難な低所得者(所得税非課税世帯)			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
65歳以上高齢者数			人	31,140	32,923	34,706				
一人暮らし高齢者数			人	3,982	4,213	4,444				
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
日常生活の連絡体制が取れることで、高齢者の安心につながる。			福祉電話貸与者/一人暮らし高齢者数		人	0.4	0.4	0.4		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した在宅生活をしてもらう。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
在宅福祉サービス利用者数			人	1,526	6,934	7,000				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	28	5	12					
	一般財源	千円	327	349	559					
	事業費計(A)	千円	355	354	571	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			通信運搬費	355	通信運搬費	354	通信運搬費	571		
	人件費	人	1	1	1					
のべ業務時間	時間	120	50	50						
人件費計(B)	千円	467	197	197	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	822	551	768	0	0				

事務事業名	高齢者福祉電話貸与事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	-------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	高齢者日常生活用具給付事業の一環として実施された。 平成8年度頃より実施。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	電話設置加入権が無くても固定電話が設置できるようになった。 携帯電話が大幅に普及するようになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	この事業を通して、電話の設置が困難な低所得者のひとり暮らし高齢者に福祉電話を貸与することは、日常生活の連絡のため必要なものであり、その結果、安心して自立した生活が送れることになるため、意図することは結果に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	電話の設置が困難な低所得者もしくは、無収入の一人暮らし高齢者に、連絡手段として電話を市が設置する事業であり妥当であると思われる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	所得の格差が広がっている現在において、低所得または無収入の一人暮らし高齢者が、社会とのつながりを持つための手段であり、電話の設置は必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	設置が必要と思われる高齢者への設置は適切に行われており、成果は充分に出ている。事業の市民への周知も図られており、成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	事業費の主なものは電話使用料を事業者(NTT)に支払う費用であり、この費用は事業者により定められているため事業費を削減する余地はない。人件費についても、必要最小限の人数で対応しており、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	電話使用料のうち900円分を市が負担しており、それ以上については利用者負担であるので、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	本事業の利用者は、低所得の一人暮らし高齢者であり、制度の廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	